



平成17年10月31日

各 位

会社名 株式会社コーセー
代表者名 代表取締役社長 小林 保 清
(コード番号4922 東証第1部)
問合せ先 IR推進室長 川合 浩
(TEL 03-3273-1812)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月12日に発表しました平成18年3月期中間期(平成17年4月1日～平成17年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)18年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

【連結】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A) (平成17年5月12日発表)	87,200	9,000	3,300
今回修正予想(B)	86,200	8,300	2,800
増減額(B-A)	1,000	700	500
増減率	1.1%	7.8%	15.2%
前期(平成17年3月中間期)実績	83,634	9,148	4,417

(2)18年3月期中間業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

【単体】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A) (平成17年5月12日発表)	46,400	5,000	2,900
今回修正予想(B)	44,828	2,995	1,415
増減額(B-A)	1,572	2,005	1,485
増減率	3.4%	40.1%	51.2%
前期(平成17年3月中間期)実績	41,390	2,632	1,756

2. 業績修正の理由

【連結】

連結売上高は、株式会社アルビオン等のグループ会社が好調に推移しましたが、単体が計画を下回ったため、計画に対して微減となる見込です。利益面につきましては、単体の理由に加え、減損損失計上の影響もあり、計画を下回る見込みです。

【単体】

単体の売上高は、マスブランドが伸び悩んだことが影響し、計画を下回る見込みです。利益面につきましては、売上減や原価率上昇のほか、販売費の前倒しや、薬事法改正に関わる たな卸資産廃棄損もあり、計画を下回る見込みです。

なお、連結・単体の通期業績につきましては、今後、新ブランドや特長のある新製品の投入による売上げ増が期待できることから、業績予想の変更はありません。

以上